

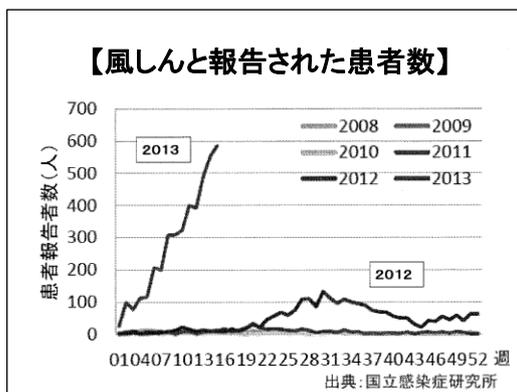
「風疹」知っていますか？

皆さん、風疹という病気を知っていますか？昨年から増加し、今年 2013(平成 25)年は関東地方・関西地方を中心として、いつもの年の 30 倍と爆発的に流行しています。今年 1 月から 5 月 12 日までで、日本全国で 6725 人が感染しています。

風疹ウイルスは咳やくしゃみなどからの飛沫により感染し、①発熱、②発疹、③頸部リンパ節の腫れ、④目の充血、⑤手のこわばりや関節痛などが主な症状です。

もともとは子どもの病気でしたが、ワクチン接種により現在の患者さんの 9 割は成人です。そのうち 8 割は男性で 20 代から 40 代が多くなっています。一方女性患者さんの 75%は 10 代後半から 30 代です。

妊娠初期の女性(3 カ月以内が多いが難聴は妊娠中期でも発生することがある)が感染すると、赤ちゃんに、先天性風疹症候群という、①難聴(耳が聞こえにくい)、②白内障(目が見えにくい)、③先天性心臓病になったり、発達の遅れが生じることがあります。不顕性感染といって妊婦に症状が出なくても、胎児が感染することもあるので、妊娠 1 カ月目は注意が必要です。去年秋から全国で 8 人の先天性風疹症候群の児が生まれています。



この病気の予防のために、妊娠初期には、①流行地の首都圏や関西に出かけない、②なるべく人ごみは避け、出かけるときはマスクをする、③うがい、手洗いをこまめにする、などの対策をとりましょう。妊婦はワクチンを受けられませんので、10 代から 40 代の女性はあらかじめ抗体価を測定し、ワクチン接種をしておくことが推奨されています。また出産直後に受けておくのもよいでしょう。

さらに周辺の家族の配慮も重要になります。(1)昭和 54 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた男女、(2)昭和 54 年 4 月 1 日以前に生まれた男性、は抗体価が低い可能性が高いので、妊婦さんの夫にはワクチン接種が勧められています。

また、お子さんは 1 歳時と小学校入学前 1 年間に合計 2 回定期接種を必ず受けましょう。なお、風疹単独ワクチンよりは供給量の多い麻疹風疹混合ワクチン(MMR)がお勧めです。今までに麻疹風疹どちらかの病気にかかっても接種は問題ありません。

<参考>

①厚生労働省:<http://www.mhlw.go.jp> >政策>健康>感染症・予防接種>麻疹・風疹

②国立感染症研究所:<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

③NPO 法人:<http://www.know-vpd.jp/>

【副院長 竹内 東光】

